

2013年8月8日

「I F T 1 3 F o o d E x p o」に出展

7月13日（土）～15日（祝）の3日間、米国・シカゴ市で開催された「I F T 1 3 F o o d E x p o」にブースを出展しました。

I F T（Institute of Food Technologists）とは、米国・シカゴ市に本部を持つ世界最大の食品関連の学会で、毎年この時期に研究発表会が開催されています。

同時開催される展示会（I F T F o o d E x p o）は、世界の食品産業の動き、新製品開発の方向性を知る手段として近年食品関連の産学官の各方面から注目を集めている展示会で、今年で74回目を迎えました。

ヤクルト薬品工業では、ガラクトオリゴ糖（製品名：「オリゴメイト」）が米国でG R A S物質（米国において一般に安全と認められる食品）としてのF D A（米国食品医薬品局）認証ならびに、コーシャ認証（ユダヤ教徒が食して良い食品）を取得しており、また、ハラール認証（イスラム教徒が食して良い食品）も取得したことから、北米地域での知名度向上と販促活動強化を目的にこの「I F T F o o d E x p o」に出展しました。

ヤクルト薬品工業の展示ブースでは、「オリゴメイト」のサンプルおよび、「オリゴメイト」を配合した飲料の試飲を実施し、食品開発に携わる多数の方に製品の特性などを紹介しました。

米国では、アメリカヤクルトが1999年から販売している「ヤクルト」を通して、プロバイオティクスの保健効果を訴求しており、今後、整腸関連商品の市場規模は拡大することが予測されます。

「オリゴメイト」などのプレバイオティクスはプロバイオティクスの増殖因子として注目されているため、ヤクルト薬品工業では、今回の展示会をきっかけに「オリゴメイト」のプレバイオティクス機能のPRならびに、様々な食品に利用しやすい食品素材として販売活動を強化していきます。

なお、今年のI F T F o o d E x p oには約1,100社が出展、来場者は3日間で約25,000人が訪れ、好評のうちに終了しました。

